

○特別会計○

区 分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業会計	5,602,829	5,394,474	208,355
老人保健医療会計	335,236	310,053	25,183
後期高齢者医療会計	556,361	549,423	6,938
介護保険事業会計	2,296,376	2,187,955	108,421
羽村駅西口土地区画整理事業会計	611,500	542,031	69,469
下水道事業会計	2,190,966	2,181,037	9,929

※各会計とも適切な予算執行により、黒字決算となっています。

基金・市債・一時借入金

基金

将来のまちづくりには備えた積立金で、家庭でいう「貯金」にあたります。

平成20年度末の一般会計の基金残高は、53億2178万円で、前年度と比べて2億901万円減少しました。

市では、今後も長期的な計画に基づき、基金を年度間の財源調整や計画事業の実現に向けて活用していきます。

市債

家庭でいう「借金（ローン）」にあたるものです。

単年度予算では賄いきれない大規模な建設事業などを行う場合に、国や金融機関などから借入れを行い、長期間にわたり返済する制度で、将来、これらの施設を利用する人にも公平に負担（後年度負担）していただく目的も含まれています。

平成20年度末の一般会計の市債残高は、113億8525万円で、前年度に比べて4億7794万円減少しました。市では、今後も財政状況に照らして借入れを行い、計画的な財政運営に努めます。

一時借入金

平成20年度は、一時借入れを行いませんでした。

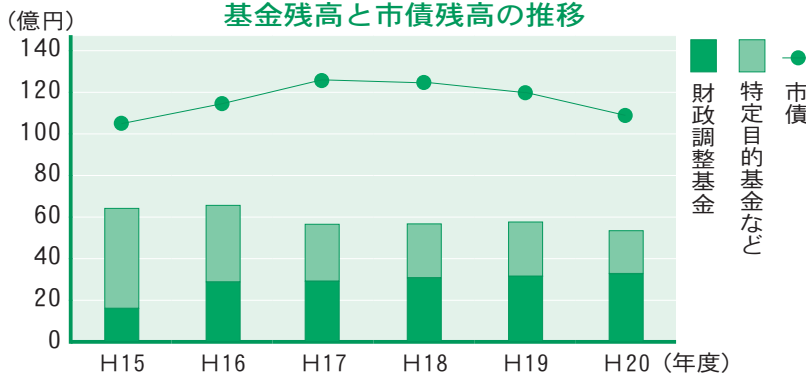
市民一人あたりの額は…

基金と市債の額を市の人口5万5812人（平成21年3月末日現在住民基本台帳人口）で割ると、

○基金 9万5352円

○市債 20万3993円 となります。

基金残高と市債残高の推移



※財政調整基金…地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金

財政指標から見た決算の状況

財政指標の主なものの状況は次のとおりです。

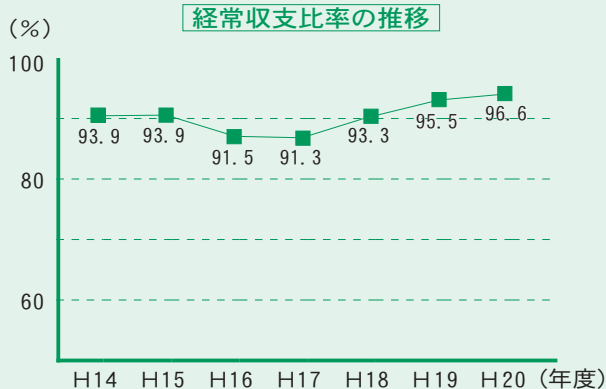
■経常収支比率

経常収支比率は、財政の弾力性を示す指標です。この数値が高くなると、財政の弾力性が失われると言われます。

平成20年度は前年度に対して1・1ポイント上昇し、96・6%となっています。

多摩地区26市の平均は、91・9%で、羽村市は低い方から17番目です。

経常収支比率の推移

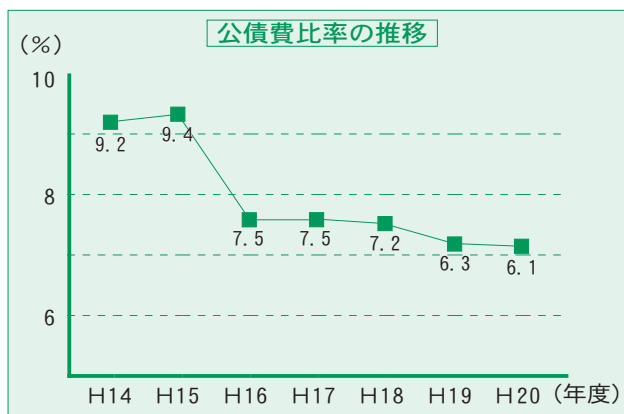


■ 公債費比率

公債費比率は、財政の弾力性を見る尺度の一つです。

平成20年度は前年度に対して0・2ポイント減少し、6・1%となっています。

多摩地区26市の平均は7・4%で、羽村市は低い方から7番目です。



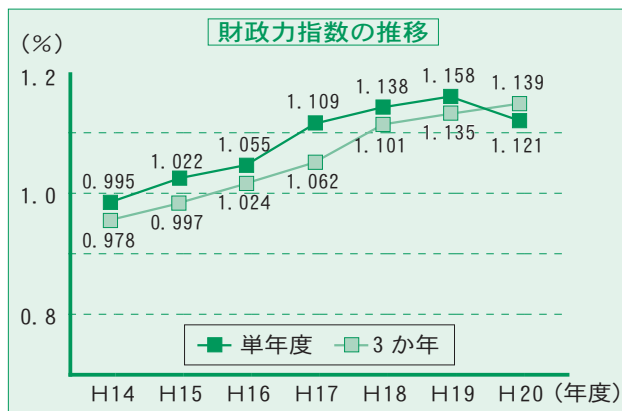
■ 財政力指数

財政力指数は、地方交付税の算定に伴って算出される数値で、この数値が高いほど財政力があると言われ、1を超えるると地方交付税が交付されない不交付団体となります。

単年度の比較をすると、平成20年度は前年度に対して0・037ポイント減少し、1・121となっています。

他団体と財政力指数を比較する場合は、その年度を含めた過去3か年の平均値を用います。

3か年の平均値は1・139です。多摩地区26市の平均は1・102で、羽村市は高い方から9番目です。単年度では10番目となります。



健全化判断比率

区 分		平成 20 年度	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字の比率	—	13.03%	20.00%
連結実質赤字比率	全ての会計の実質赤字の比率	—	18.03%	40.00%
実質公債費比率	公債費および公債費に準じた経費の比重を示す比率	4.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	地方債残高のほか、一般会計などが将来負担すべき実質的な負担を捉えた比率	12.4%	350.0%	—

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、赤字額ではないため「—」となります。

資金不足比率

区 分		平成 20 年度	経営健全化基準
下水道事業会計	公営企業ごとの資金不足の比率	—	20.0%
水道事業会計		—	20.0%

※資金不足額が生じないため「—」となります。

■ 健全化判断比率および資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、平成19年度決算から、市の財政状況を判断するため設けられた健全化判断比率および資金不足比率の算定および公表が義務付けられました。

平成20年度決算を基に算定した比率は次のとおりです。
いずれも早期健全化基準（イエローカード）を大きく下回る結果となりました。

平成13年度決算から、「決算から見た羽村市の財政状況」や「財務諸表から見た羽村市の財政分析」などをまとめた「財政白書」を発行しています。市役所1階市政情報コーナー、図書館、市ホームページなどでご覧ください。

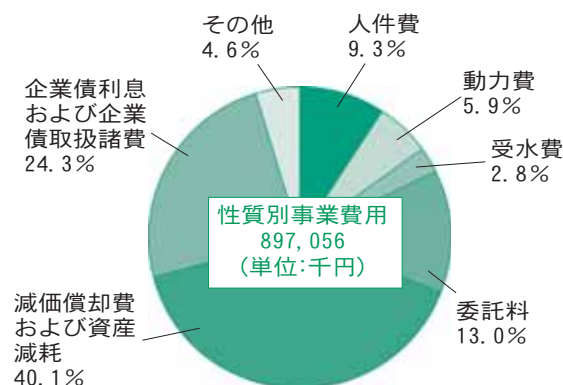
平成20年度

水道事業の決算状況

▼歳出決算額内訳

(単位：千円、1 m³/円)

項 目	費 用	給水原価
人件費	職員の給与など	83, 212
動力費	水源から水をくみ上げたり、配水塔へ水を貯めたりする際の電気代などの経費	52, 619
受水費	東京都から臨時に水の供給を受ける際の経費	24, 745
委託料	検針業務、休日・平日夜間における水源や配水場の監視業務委託などの経費	117, 057
減価償却費および資産減耗	固定資産価値減耗に係る費用	359, 883
企業債利息および企業債取扱諸費	企業債（借金）の支払利息に係る費用	218, 511
その他		41, 029
歳出合計		897, 056



▼収益的収支 (税抜き、単位：千円)

水道収入（水道料金など）	986, 851
水道費用（水道を供給するための費用）	958, 408
差引き（純利益）	28, 443

▼資本的収支

(税抜き、単位：千円)

工事負担金収入	0
工事費用など（配水管整備・施設整備・企業債償還金）	562, 567
差引き	△ 562, 567

※不足分については、減債積立金、前年度の減価償却費などの資金を充当しました。

建設改良工事などの状況

老朽管の管種替などの配水管網の整備、水道事務所2階用空調機冷温水発生機および浄水場直流電源盤バッテリーの取替工事などを行いました。

▼貸借対照表

(税抜き、単位：千円)

資 産	負 債
固定資産 (土地・建物・施設・配水管など)	流動負債 (未払金など)
8, 183, 078	20, 362
流動資産 (現金預金・未収金など)	資 本
655, 095	資本金 (自己資本金)
	1, 425, 119
	(借入資本金)
	5, 576, 443
	計
	7, 001, 562
	剰余金 (資本剰余金)
	1, 504, 895
	(利益剰余金)
	311, 354
	計
	1, 816, 249
資産合計	負債・資本合計
8, 838, 173	8, 838, 173

○財政状況○